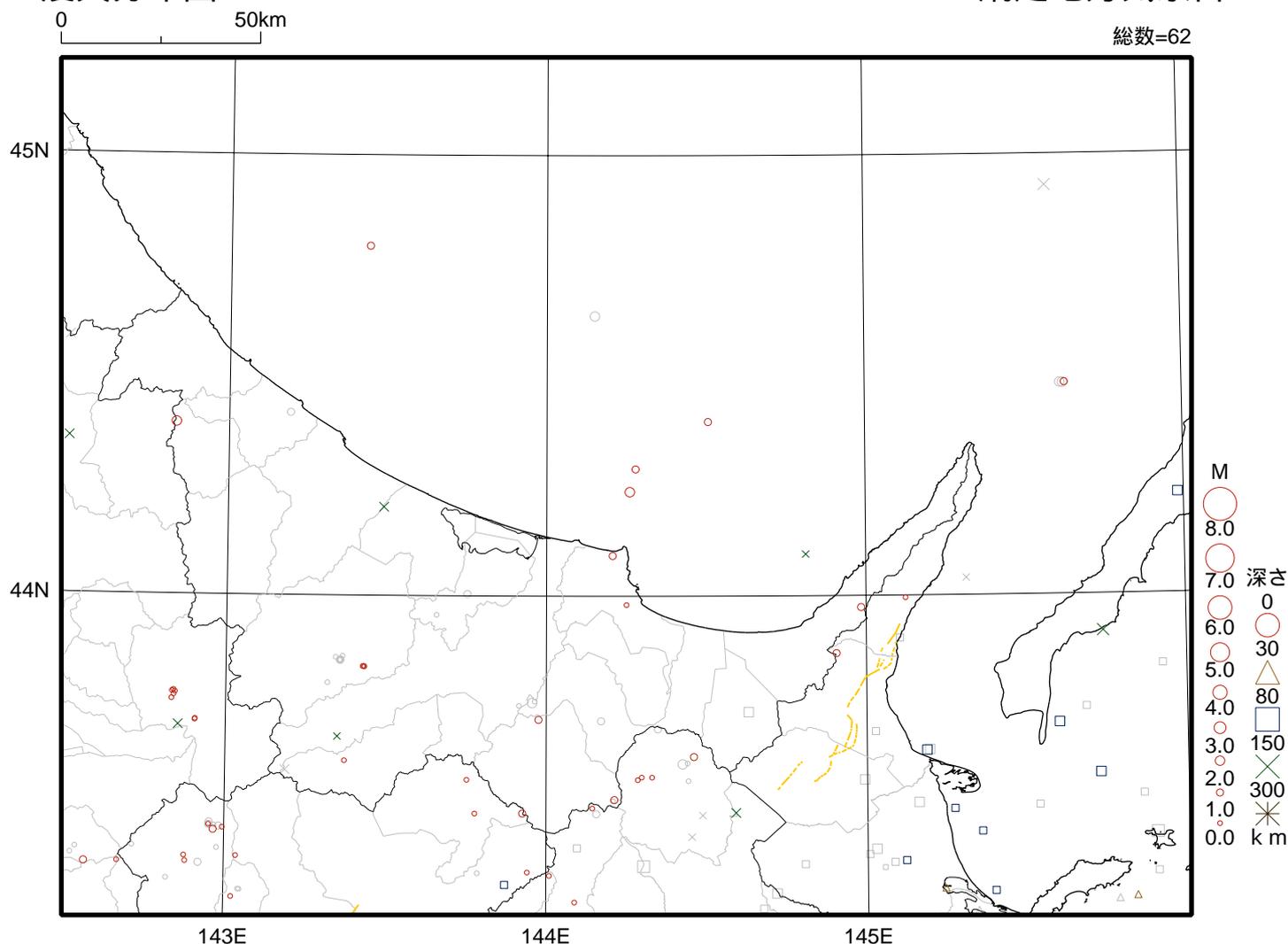


網走・北見・紋別地方の地震活動図

2023年5月1日～2023年5月31日

震央分布図

網走地方気象台



地震概況（2023年5月）

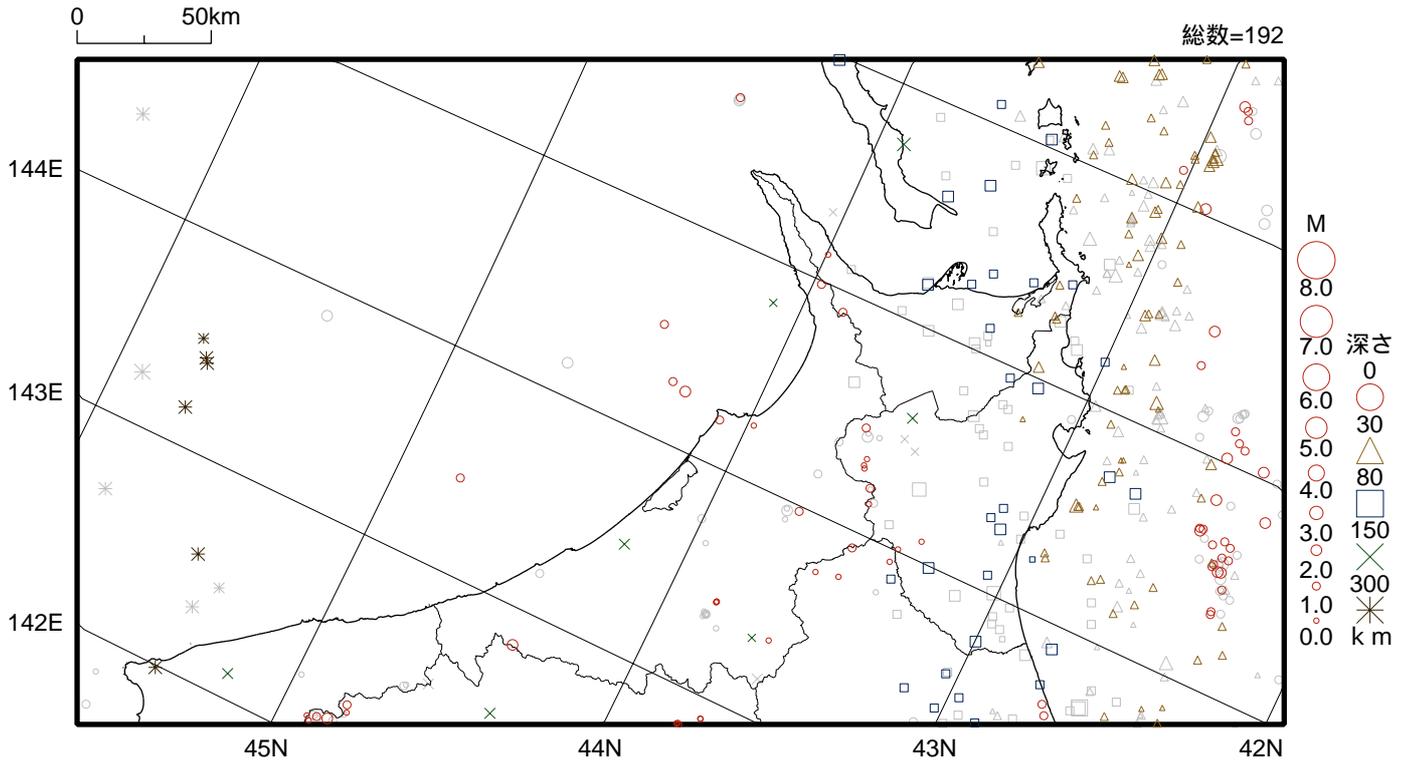
この期間、網走・北見・紋別地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回（4月は1回）でした（「網走・北見・紋別地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

11日18時52分、日高地方東部の地震（M5.5、深さ55km、震央分布図の範囲外）により、北見市で震度2、置戸町、美幌町、津別町、訓子府町、湧別町で震度1を観測しました。

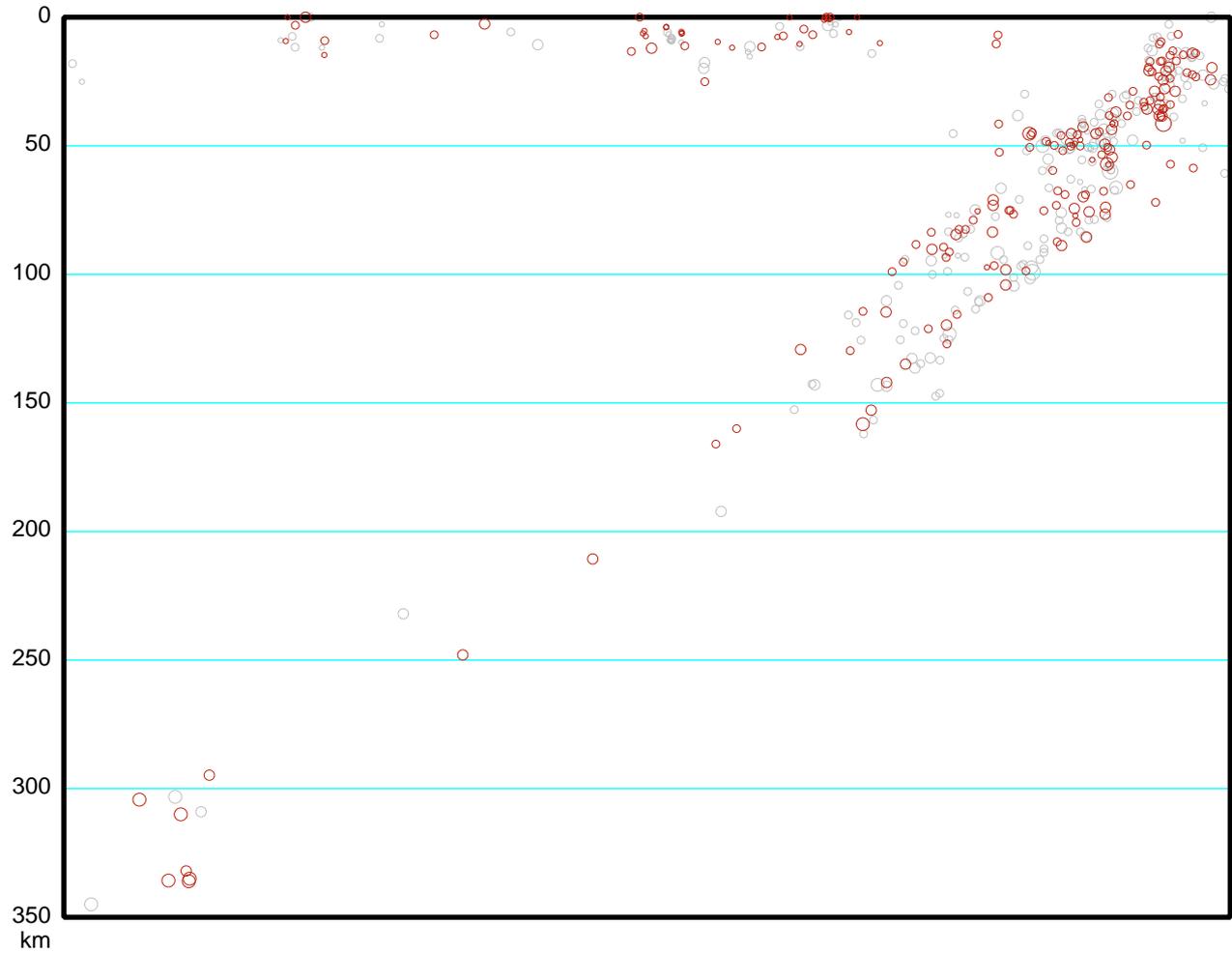
21日18時39分、北海道東方沖の地震（M4.7、深さ39km、震央分布図の範囲外）により、清里町で震度1を観測しました。

2023年5月1日 ~ 2023年5月31日

震央分布図



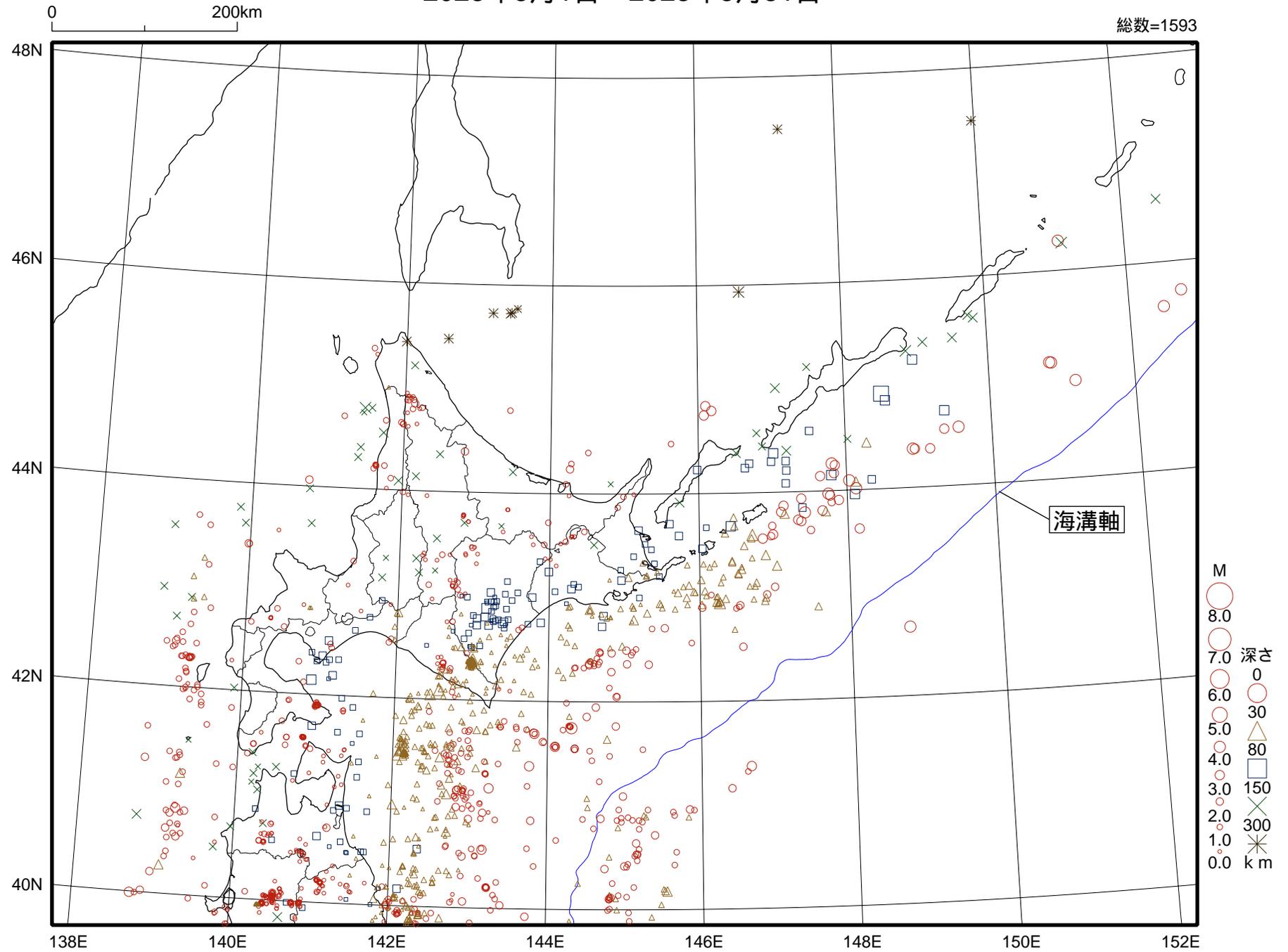
断面図



北海道の地震活動図

2023年5月1日 ~ 2023年5月31日

震央分布図



網走・北見・紋別地方で震度1以上を観測した地震の表（2023年5月）

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯（N）	東経（E）	深さ（km）	規模（M）
2023年 5月11日 網走・北見・紋別地方	18時52分 震度2 震度1	日高地方東部 北見市公園町(16) 美幌町東3条(10) 津別町幸町*(10) 北見市留辺蘂町上町(06) 北見市南仲町*(08) 北見市留辺蘂町栄町*(12) 北見市留辺蘂町富士見*(08) 訓子府町東町*(10) 置戸町拓殖*(14) 湧別町栄町*(07)	42°22.4 N	143°00.4 E	55 km	M5.5
2023年 5月21日 網走・北見・紋別地方	18時39分 震度1	北海道東方沖 清里町羽衣町*(12)	43°35.6 N	146°42.6 E	39 km	M4.7

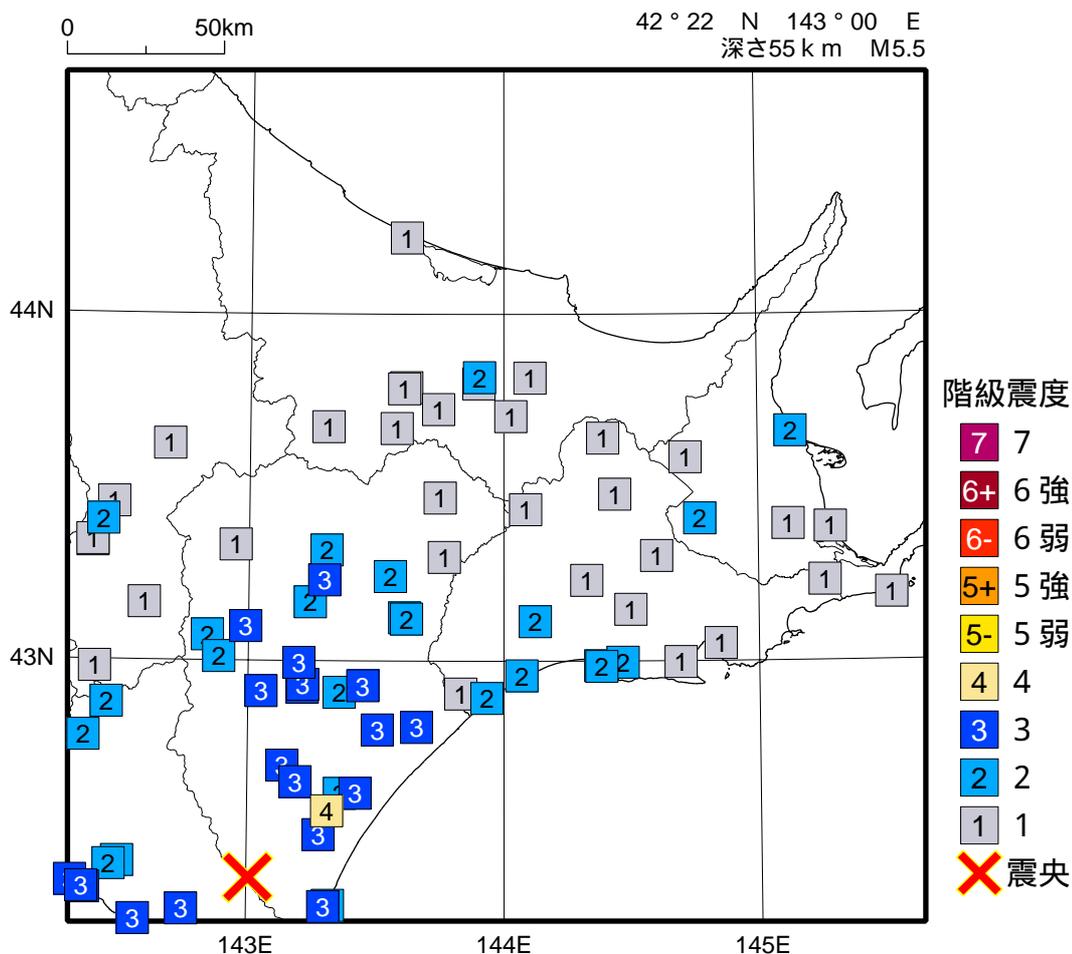
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

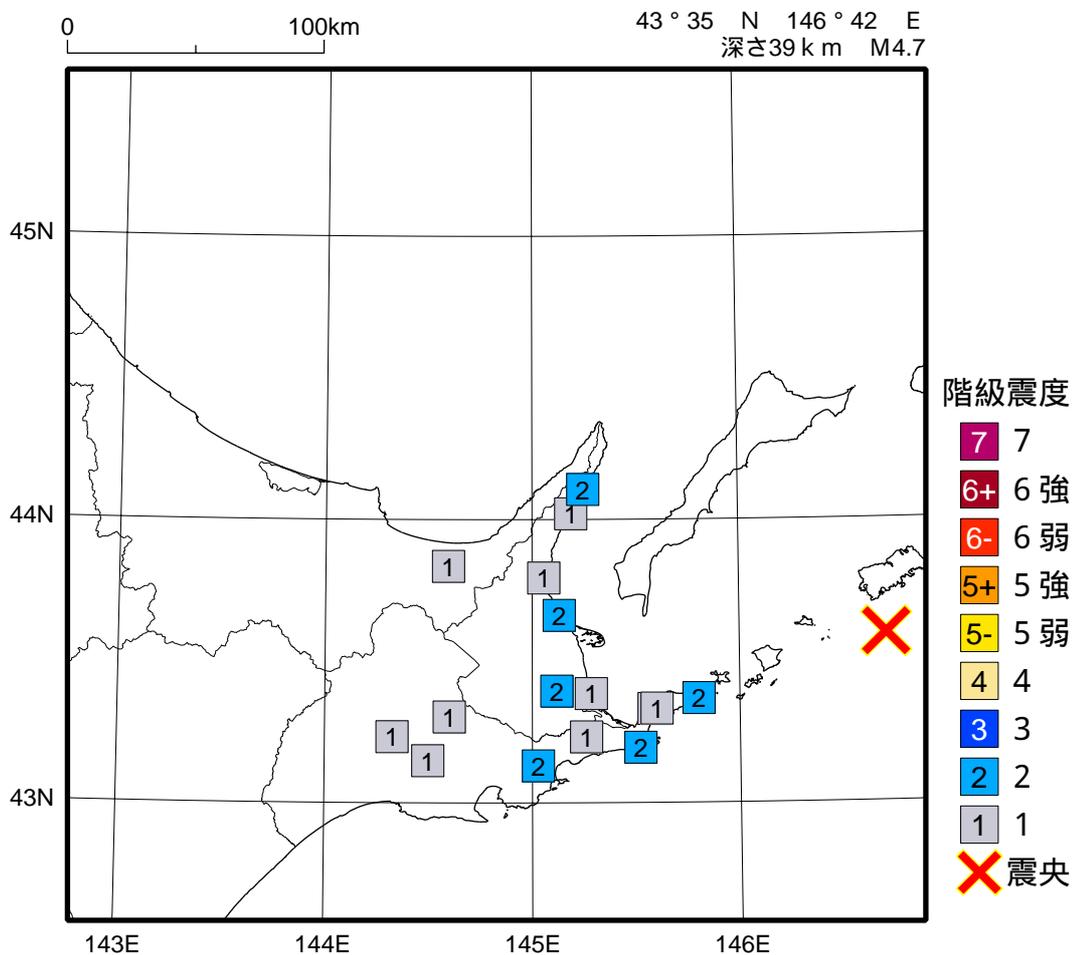
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

2023年 5月11日18時52分 日高地方東部の地震の震度分布図



2023年 5月21日18時39分 北海道東方沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～大津波警報・津波警報・津波注意報～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置を速やかに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下「津波警報等」）を津波予報区単位（図1）で発表します。



図1 北海道の津波予報区

1. 津波警報等で予想される津波の高さ

津波警報等では、予想される津波の高さを通常5段階の数値で発表します（表1）。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震では地下の岩盤の破壊が数分程度も続くことから、すぐに精度の良い地震の規模を求めることが出来ず、地震発生直後には津波の高さも正確に予想できません。そこで、最初に発表する津波警報等では、その海域で想定される最大規模の津波をもとに、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表し、非常事態であることを伝えます。その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、予想される津波の高さを数値で発表します。

表1 津波警報等の種類ととるべき行動（気象庁リーフレット「津波防災」より）

	予想される津波の高さ		とるべき行動	避難の範囲
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	<p>沿岸部や川沿いにいる人は、<u>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</u>してください。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p>	<p>お住まいの市町村の津波ハザードマップ等で、浸水が想定される区域を確認しておきましょう。</p>
	10m (5m<高さ≤10m)			
津波警報	5m (3m<高さ≤5m)	高い	<p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p>	<p>また、津波の規模は様々であり、実際には浸水想定を上回る津波が襲ってくることもあるので、<u>最大限の避難を心がけ</u>ましょう。</p>
	3m (1m<高さ≤3m)			
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	<p><u>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れて</u>ください。</p> <p>津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p>	

2. 津波警報等と避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報等が津波の襲来に間に合わないことがあります。沿岸で強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報等が解除されるまでは、避難を続けましょう。